

日時 令和2年3月3日（火） 書面開催

<出席者>

大 島 健 委員長 瀧 川 秀 敏 副委員長  
市之川 敦 子 委員 加 藤 瑞 希 委員 小 林 智 子 委員  
古 村 俊 大 委員 塩 田 直 之 委員 菅 沼 真 弓 委員  
田 中 理 恵 委員 春 山 俊 裕 委員 藤 崎 博 人 委員  
松 本 浩 子 委員  
村 松 正 仁 学校指導担当部長 多 治 見 忠 指導主事  
傳法谷 肇 指導主事 久 永 恵 子 調査研究専門指導員  
本 郷 美 香 事務員

### 議事

- (1) 令和元年度事業報告
- (2) 令和2年度事業計画（案）
- (3) 教育研究所運営に係る意見・質問
- (4) 次年度に向けての意見

### 《質問・意見より》

- 学習教材の提供や子供たちの体力維持のための動画をホームページにアップロードしていただき感謝しています。普段からもホームページを見る機会が増え、さらに保護者の関心が向けばいいと思います。
- 先生方の働き方改革が叫ばれる中、熱心に研修会等に参加し、勉強されていることを保護者がもっと知るべきだとも思います。

- 時代の流れの中で学ぶことが増え現場は大変だと思いますが、研究の成果を子供たちに還元していただき、共に子育てをしていくことができればと思います。
- 長期休業中の各講座運営に関わった研究所の皆様、所員の皆様、お疲れ様でした。そして、ありがとうございました。
- 今年度、出席簿のように各学校で共通で使用できるソフトが提供されたこと、大変有り難く有意義に思います。来年度も、学校の働き方改革につながり、業務の効率化に働く提案や提供を、よろしく願いいたします。
- この2～3年において、学校教育指導室と教育研究所の連携が大変活発で、様々な取組に結びついていると思われます。今後も、さらに連携した有意義な研修や提案、提供を各学校にしていいただけると、助力になると考えます。
- その時々に必要な研究内容について取り組まれている印象です。特に ICT の分野については、実践的な研究がされており還元されているという印象があります。
- 「現場に還元し帯広市全体の教育水準の向上」を考え、各種研修会には参加を募る形から、研究所員が学校へ訪問するスタイルを試みてほしいです。
- 各校の管理職及び研究部(研修部)が計画的に研修所員を招致し、指導を受けるような形態ができないかと思ひます。それによって研究所員の地位向上及び認知促進によりさらに身近な研究団体に発展していくように考えています。
- 今後 10 年間を見通した場合、教員の大量退職、大量採用の影響等により、教員の経験年数の均衡が崩れ、かつてのように先輩教員から若手教員への知識・技能の伝承をうまく図れない状況が予想されます。このような状況が予想される中、夏季休業中や冬季休業中に今日的な教育課題の解決に資する研修講座を開催するなど、教員の資質能力の向上を図る取組の効果は大きいと考えています。
- 2030 年になると生産年齢人口の割合が約 58%になり、2040 年には全国にある約 1800 の市町村数が半減したりするなど、地域の枠組みが大きく変わることが予想されています。そのため、子供たちに地域への愛着と誇りをもち、地域の諸課題を解決する力

を育むことがこれまで以上に求められています。このような中、「おびひろ市民学」を中心とした「地域学に関する研究」を推進することは有効であると考えています。

- 帯広市内の小・中学校における教育の発展は、帯広市教育研究所の皆様方の尽力によるところが大きいと考えています。この場をお借りして、心より感謝申し上げます。
- 教職員の研修の意欲・参加希望が高まっているのは大変好ましく思いました。地域学（おび学）で「おびひろ市民学」の作成が行われたことは、帯広市への理解・興味を深め、郷土愛を育むことになる素晴らしい取組だと思います。
- 引き続き、教師の資質能力向上のために、教育の課題や時代の流れに即した興味あるテーマでの研修を充実させ、多数の参加を希望します。去年は災害の多い年でしたが、今年は今直面している感染症に関するテーマでの講演なども良いかと思えます。また、不登校の児童生徒が増加しているようなので、その原因を追究し、改善策への取組も大事だと思います。
- 教職員の方々のご多忙にもかかわらず本当に頑張っていらっしゃることと思います。全体を通して、教育研究所の取組は多方面に渡り、きめ細かな研究がなされ、年々改善されている素晴らしい取組であることに敬意を表します。引き続きよろしく申し上げます。